



2024年11月8日

各位

会社名 東亜道路工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 森下 協一  
(コード番号 1882 東証プライム)  
問合せ先 執行役員経理部長 戸倉 克夫  
(TEL. 03 - 3405 - 1812)

## 2025年3月期 第2四半期(中間期)業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2024年5月10日に公表しました2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績予想と本日公表の実績との差異について、下記の通りお知らせいたします。

記

### ● 2025年3月期 第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値との差異

(2024年4月1日～2024年9月30日)(百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 50,500	百万円 540	百万円 550	百万円 280	円 銭 5.96
実績値(B)	53,881	177	321	602	13.04
増減額(B-A)	3,381	△362	△228	322	
増減率(%)	6.7	△67.2	△41.6	115.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2024年3月期第2四半期)	50,824	629	796	487	10.24

### ● 業績予想と実績の差異の理由

売上高につきましては、建設事業では手持工事の進捗が順調であったこと、製造販売・環境事業等では原材料価格の上昇分を販売価格への転嫁を進めたことにより予想数値を上回りました。

営業利益、経常利益につきましては、建設事業では資材価格や人件費の高騰による完成工事利益の減少等、製造販売・環境事業等では出荷量の減少および販売価格への転嫁を超える原材料価格やエネルギー価格の高騰等の影響により予想数値を下回る結果となりました。

親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、投資有価証券売却益の計上により予想数値を上回る結果となりました。

なお、2025年3月期通期の業績予想及び配当予想につきましては、第3四半期以降、建設事業では手持工事の進捗は引き続き順調に推移していること、製造販売・環境事業等では出荷量の回復を見込んでおり、また原材料価格上昇分の販売価格への転嫁も一段と進んでいることから、現段階では2024年5月10日に公表した予想数値を変更しておりません。今後の業績推移に応じて修正が必要になった場合は適切に開示いたします。

※上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。  
実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上